

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道9号 松江道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：鳥根県八束郡東出雲町 出雲郷 至：鳥根県松江市玉湯町 湯町			延長	13.7km	
事業概要	<p>一般国道9号は、京都市から関市に至る延長約730kmの主要幹線道路である。松江道路は、一般国道9号の渋滞緩和、安全性の向上、医療活動の支援、魅力ある都市空間の形成などの機能を果たすとともに、山陰地方における高規格道路網の一部を形成する路線で、広域交流の促進及び地域活性化に寄与する延長13.7kmのバイパスである。</p>					
S47年度事業化	S47年度都市計画決定 (H元年度変更)	S52年度用地着手	S55年度工事着手			
全体事業費	約1,050億円	事業進捗率	99%	供用済延長	13.7km	
計画交通量	18300~45400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 8.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 18 / 1774 億円 事業費：7.5 / 1707億円 維持管理費：11 / 67億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 146 / 6109 億円 走行時間短縮便益：149/5012億円 走行経費減少便益：-2.6/808億円 交通事故減少便益：0.08/289億円	基準年 平成20年		
感度分析の結果	残事業についての感度分析を実施					
交通量変動	B/C=11.9 (交通量+10%)		B/C=5.5 (交通量-10%)			
事業費変動	B/C=7.8 (事業費+10%)		B/C=8.4 (事業費-10%)			
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道の旅行速度の改善が見込まれる） 国土・地域ネットワークの構築（山陰自動車道に並行する一般国道自動車専用道路を構成） 国道9号の各主要渋滞ポイントの渋滞緩和（渋滞損失時間の削減） <p>他19項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	松江道路は、松江市内の交通の円滑化、移動時間の改善、中心市街地の活性化が期待されており、松江市をはじめとする関係7市2町の首長で構成される山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	H13.3.に全線暫定供用したことで、松江市内の渋滞緩和が図られた。しかし、松江道路においては、沿道開発等、周辺状況の変化による交通量の増加、交通流動の変化により混雑が生じている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	H13.3までに全線暫定供用、H19年度末までに8.8kmを完成供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、H21年度内の全線完成供用を目指し、事業を推進する。					
施設の構造や工法の変更等	橋梁の耐候性鋼材（無塗装化）の使用及び、防草シート設置による管理費のコスト削減を図っている。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>The map illustrates the Matsuyama Road project route from Yamatsumi to Tamaki. Key sections include: <ul style="list-style-type: none"> 松江道路 玉湯工区 (L=2.8km) バイパス部 (L=1.6km) 現道拡幅部 (L=1.2km) 松江道路 13.7km (L=10.9km) The map also shows existing roads, interchanges, and surrounding municipalities like Yamatsumi, Tamaki, and Matsuyama. </p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。